



# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.2 使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	本通小学校	階数	地上3F
建設地	札幌市白石区平和通9丁目南1.2	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域 防火指定なし 第22条区域	平均居住人員	472 人
気候区分	2地域	年間使用時間	2,200 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月 予定	評価の実施日	2016年6月10日
敷地面積	15,152 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社ドーコン
建築面積	1,449 m <sup>2</sup>	確認日	2016年3月7日
延床面積	3,351 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.9

**Q1 室内環境** Q1のスコア = 2.6

**Q2 サービス性能** Q2のスコア = 3.1

**Q3 室外環境(敷地内)** Q3のスコア = 3.2

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.1

**LR1 エネルギー** LR1のスコア = 3.5

**LR2 資源・マテリアル** LR2のスコア = 2.7

**LR3 敷地外環境** LR3のスコア = 3.0

### 3 設計上の配慮事項

<p><b>総合</b></p> <p>既存小学校に、RC造3階建の校舎を増築する計画である。</p> <p>外壁には耐久性の高いガルバリウム鋼板と外断工法を用いている。</p> <p>また、開口部にはLowEペアガラスを採用し、断熱性能を向上している。</p> <p>屋上には太陽光パネルを設置することで、省電力化を図るとともに、児童への省エネルギーの啓蒙を行うこととしている。</p> <p>敷地周辺には、緑化を施している。</p>	<p><b>A 省エネルギー</b></p> <p>外断熱工法とLowEペアガラスによる断熱性能を向上させることで、暖房エネルギーを抑える計画としている。また建物の外形をできるだけシンプルな形とすることで表面積を小さくし、熱負荷低減を図っている。また建物中央に吹き抜け空間を配置し、トップライトを設けることで、昼間の照明エネルギー低減を図っている。</p>
<p><b>B 省資源等</b></p> <p>ゴミをまとめて分別できる場所を設置している。</p>	<p><b>C 緑化</b></p> <p>既存樹木を出来る限り伐採しない計画としている。</p>
	<p><b>D 雪処理</b></p> <p>来客者駐車場及び登下校アプローチを近接させ、できるかぎりスノーブレードに除雪できるように配慮した。また、アプローチには芝生広場を設け、冬は堆雪スペースとして利用可能。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される